

北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会

第3回資料【本編】

北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画策定委員会

第3回資料【本編】

1	第3回委員会の検討内容と論点の整理	1
2	基本テーマ等の検討	
(1)	情報交流会館	3
(2)	多目的広場等	5
(3)	駅前広場、パーク・アンド・ライド駐車場	6

1. 第3回委員会の検討内容と論点の整理

(1) 第3回委員会の検討内容

【参考】 駅周辺整備における基本テーマ等 （第2回委員会より抜粋）

■駅前広場

（自家用車関連施設・バス関連施設・タクシー関連施設・広場・モニュメント）

■駐車場（パーク＆ライド用）

■高速道路と直結した駐車場（ハイウェイオアシスの駐車場）

■交通関連施設

（レンタカー・レンタサイクル）

■情報交流会館（交通情報・観光案内）

■多目的広場等（公園を含む）

+

越前市らしさを出す機能
丹南地域の玄関口としての機能



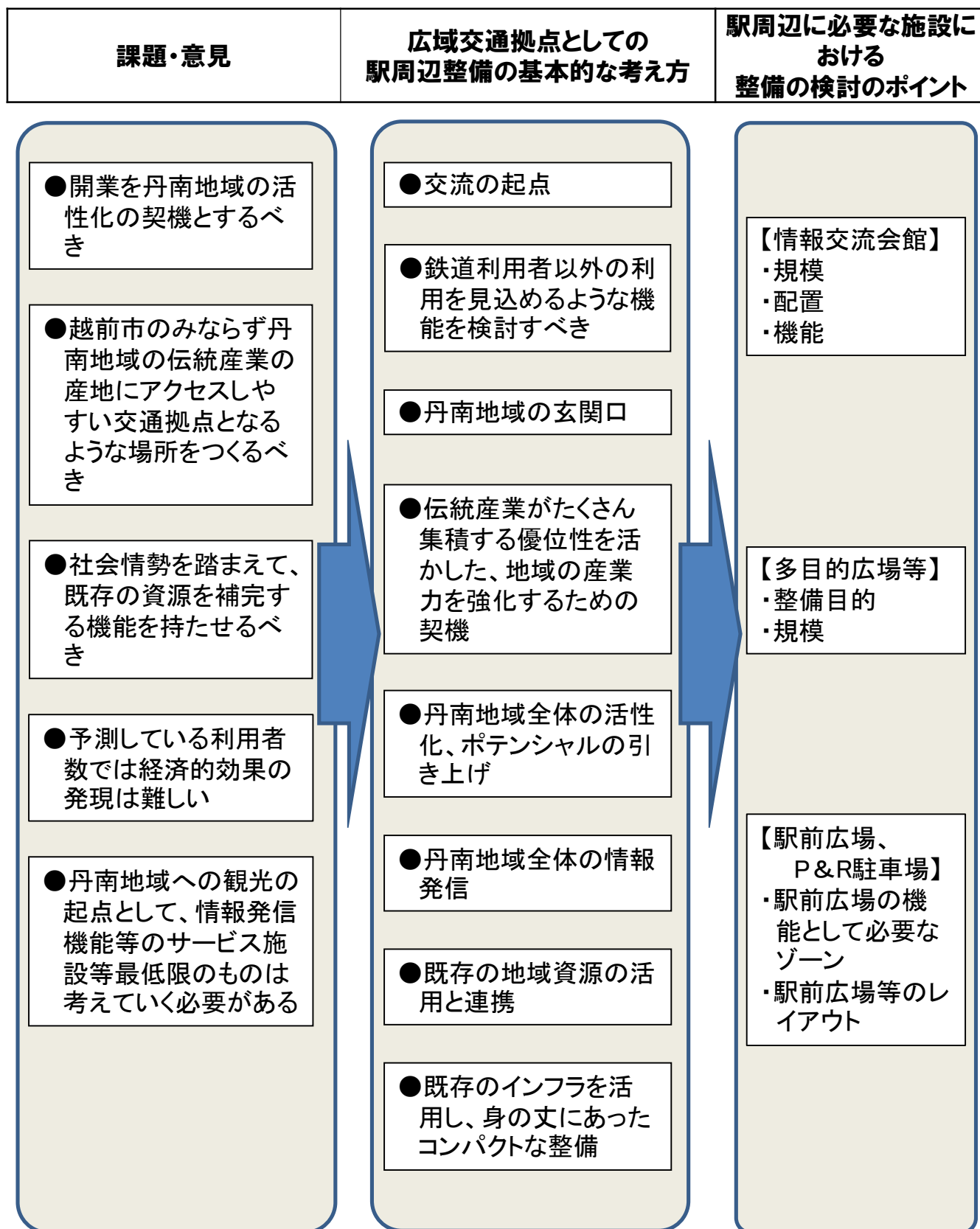
1 情報交流会館：施設整備の内容について、事例をもとに検討

2 多目的広場等：施設整備の内容について、事例をもとに検討

3 駅前広場、パーク・アンド・ライド駐車場

：1、2の施設も含めたレイアウトパターンについて、事例をもとに検討

(2) 第2回委員会の論点の整理



※ P & R 駐車場：パーク・アンド・ライド駐車場をいう。

2. 基本テーマ等の検討

(1) 情報交流会館

検討のポイント

1) 規模・配置

- 観光情報を、パンフレット、パソコン・タッチパネル式の情報端末、及びパネル展示等により発信する場合は、比較的小規模となる（面積約30～280㎡）
- 模型などの展示や特産品の販売機能を加えた場合、規模は大きくなる（面積約400㎡～）
- 配置は、駅利用者限定される「改札内」、駅利用者以外も利用可能な「改札外（駅舎内）」「駅舎外」の3パターンがある

2) 機能

- 伝統産業の産地や工房、商品などの展示紹介による情報発信機能に加え、地域の特産品の販売や体験コーナーを設ける事例が【道の駅】を中心に増加している。

■ 事例

		機 能		
		情報提供型	ゲートウェイ型	多機能型
規 模	小規模 （改札内）	【事例1】 筑後船小屋駅 （福岡県筑後市） （参考資料P1）		
	大規模 （改札外、駅 舎外含む）	【事例2】上田駅 （長野県上田市） （参考資料P2）	【事例3】今治地方観光情報 センター（愛媛県今治市） （参考資料P3） ◆ 新高岡駅 （参考資料P6） ◆ 黒部宇奈月温泉駅 （参考資料P7）	【事例4】法隆寺 i センター （奈良県生駒郡斑鳩町） （参考資料P4） 【事例5】京都伝統産業ふれ あい館 （京都府京都市） （参考資料P5） 【事例6～10】道の駅 （本編P4） （参考資料P10～14）

◆ 道の駅

○ドライバーが立ち寄るトイレ・休憩施設として生まれた「道の駅」は、その数が1,000を超える中、道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供だけにとどまらず、地域振興や防災機能を備えたものが設置されている。

■ 道の駅の機能 4つの機能

- 休憩機能 : 24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
- 情報発信機能 : 道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
- 地域連携機能 : 文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設
- 災害時の防災機能 : 地域住民の避難所(非常用電源、備蓄倉庫等)
自衛隊、警察、消防等の広域支援部隊が参集する拠点

■ 機能からみた道の駅の事例

【事例6】 地域の観光総合窓口 (参考資料P 10)

【事例7】 地域の特産品を生かした産業振興 (参考資料P 11)

【事例8】 災害時に高度な防災機能を発揮 (参考資料P 12)

■ 配置からみた道の駅の事例

基幹道路隣接	駅と併設	インターチェンジ至近
道の駅河野 (福井県南越前町)	道の駅九頭竜 (福井県大野市) 【事例9】道の駅日和佐 (徳島県美波町) (国道55号線隣接) (参考資料P 13)	道の駅わかさ小浜 (福井県小浜市) 【事例10】 道の駅富楽里とみやま (千葉県南房総市) (参考資料P 14)

(2) 多目的広場等

検討のポイント

1) 整備目的

- 先行事例をみると、「地域のイベントの場」、「駅利用者や地域住民の憩いの場」、「地域の豊かな自然環境の表現」といった目的から整備されている。

2) 規模

- 在来線の鉄道駅【事例11】では1,000㎡未満、特急・新幹線駅【事例12・13、新高岡駅、黒部宇奈月温泉駅】では3,000㎡～9,000㎡となっている。
- 新幹線駅の多目的広場では、災害時の避難場所や地域の顔・玄関口としての風格のある空間形成、自然豊かな地域環境の表現する空間形成といった目的から大きな規模での整備が実施されている。

■ 事例

	整備目的	規模
【事例11】鵜沼駅 (岐阜県各務原市) (参考資料P15)	➤ 地域住民、駅利用者の憩いの場（散策空間） ➤ 駅前広場の潤いづくり	約700㎡
【事例12】防府駅 (山口県防府市) (参考資料P16)	➤ 地域住民、駅利用者の憩いの場（親子の利用など） ➤ 駅前広場の潤いづくり ➤ イベント会場 ➤ 災害時の一時避難場所	約3,000㎡
【事例13】日向駅 (宮崎県日向市) (参考資料P17)	➤ 地域住民、駅利用者の憩いの場（親子の利用など） ➤ イベント会場（市の祭りなど） ➤ 利用促進による駅の拠点性の向上	約3,200㎡
(参考) 新高岡駅	➤ 飛越能の自然をイメージした空間形成 ➤ 地域住民、駅利用者のアメニティ機能（民営のカフェも設置） ➤ イベント会場	約6,000㎡
(参考) 黒部宇奈月温泉駅	➤ 黒部川扇状地の豊かな水、黒部峡谷、白馬連山などの魅力を感じられる空間形成	約9,000㎡

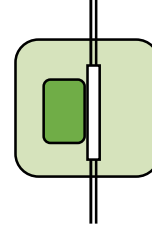
(3) 駅前広場、パーク・アンド・ライド駐車場

検討のポイント

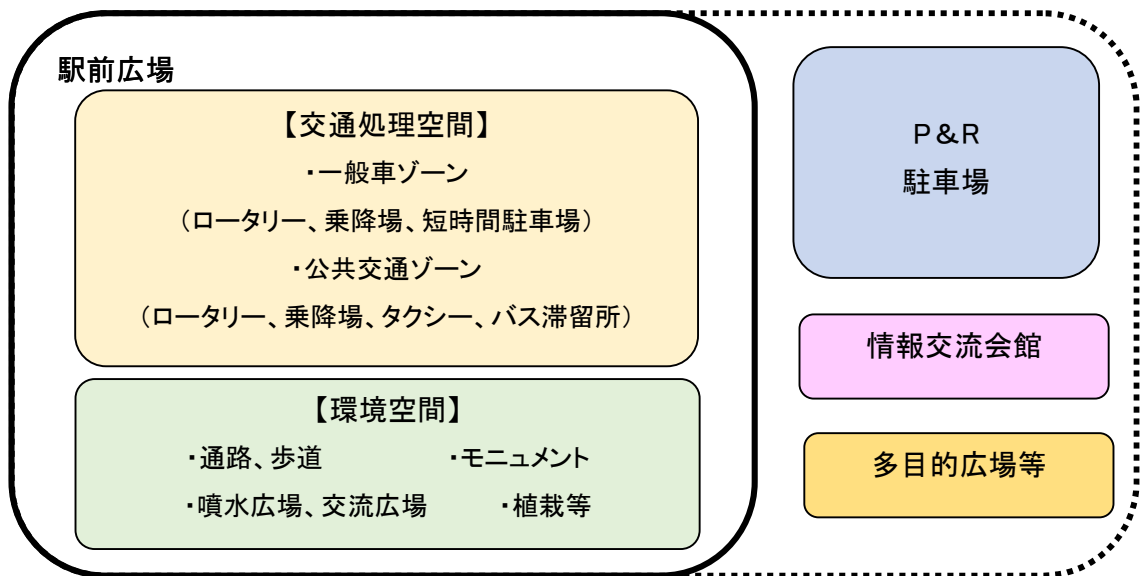
1) 配置パターン

駅前広場は駅の西側に配置し、パーク・アンド・ライド駐車場(以下、P&R 駐車場)は駅西側と東側の周辺に配置する。

駅前広場を駅西側、
駐車場を駅西側と東側の両側に配置



2) 駅前広場の機能として必要なゾーン



3) 交通処理空間からみたレイアウト

パターンA：バス、タクシー、一般車の機能が一体となったパターン

観光案内所、特産品販売所＋P&R 駐車場

・日和佐駅（JR四国）（参考資料P 13）

防災機能を持った多目的広場＋P&R 駐車場

・防府駅（JR西日本）（参考資料P 16）

公園・多目的広場等が一体となった駅前広場＋P&R 駐車場

・新玉名駅（九州新幹線）（参考資料P 18）

パターンB：バス、タクシー、一般車の機能を分離したパターン

バス・タクシー・一般車の機能が分離された駅前広場＋P&R 駐車場

・新花巻駅（東北新幹線）（参考資料P 19）

その他の事例

駅前広場＋P&R 駐車場

・安中榛名駅（長野新幹線）（参考資料P 20）

多目的広場と交通処理空間を一体的に整備＋P&R 駐車場

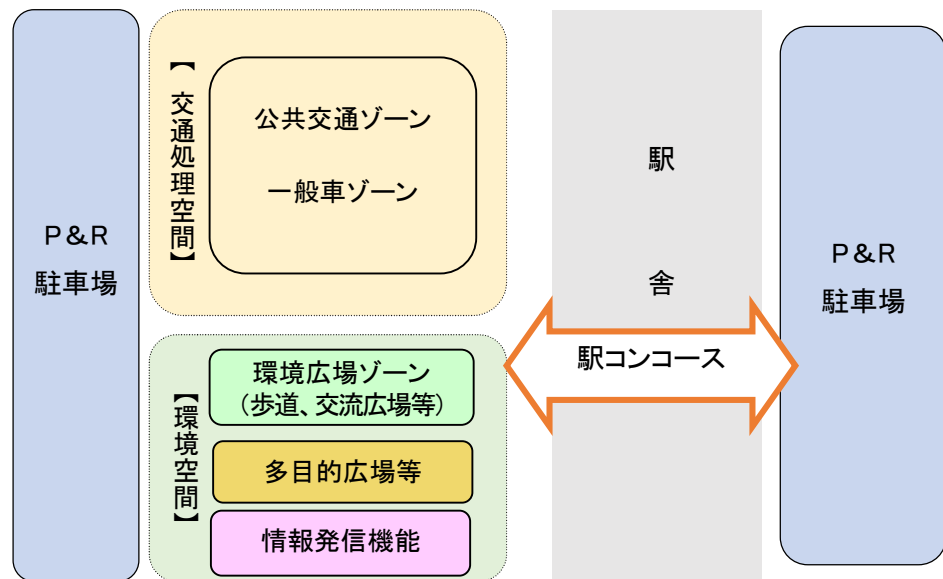
・鶴沼駅（JR東海）（参考資料P 15）

駅前広場等のレイアウトパターン

パターンA

新玉名駅
日和佐駅
防府駅

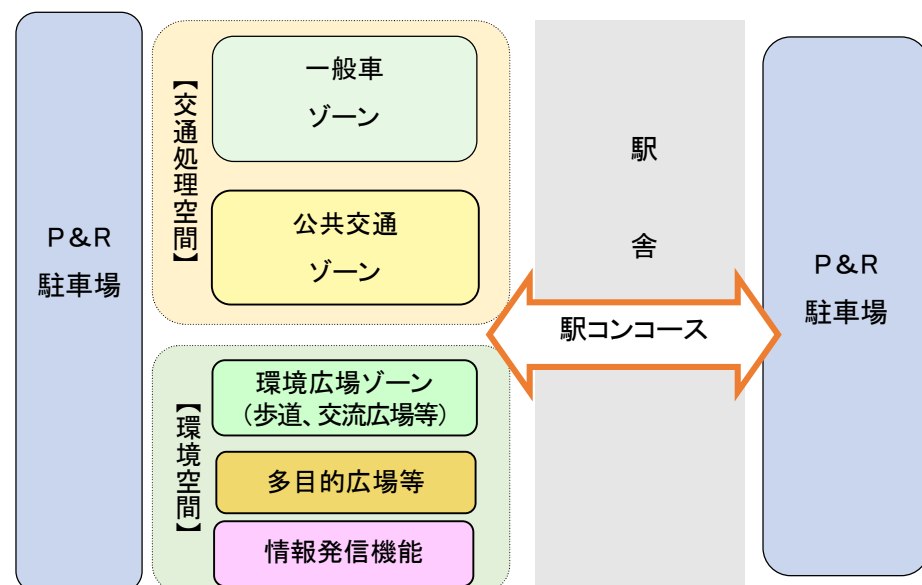
バス、タクシー、一般車の機能が一体となったパターン



パターンB

新花巻駅

バス、タクシー、一般車の機能を分離したパターン



その他の事例

安中榛名駅
鷺沼駅